

令和2年3月31日

西条市長 玉井 敏久 殿

会派名 自民クラブ
経理責任者 井上浩二



令和元年度政務活動費収支報告書

西条市議会政務活動費の交付に関する条例施行規則第6条の規定により、下記のとおり令和元年度政務活動費収支報告書を提出します。

- 1 収入(政務活動費) 1,980,000 円
2 支出 1,980,000 円

内訳

(単位:円)

科 目	金 額	備 考
研究研修費		
調査旅費	1,980,000円	先進都市視察(2回)に要する経費
資料作成費		
資料購入費		
広報費		
広聴費		
事務費		
その他の経費		
合 計	1,980,000円	

- 3 残額 0 円





注 備考欄には、主たる支出を記入してください。

この報告書には、支出が明らかな領収書等の証拠書類を添付してください。

支 出 伺

令和元年 10月10日

本書金額を、政務活動費より支出してよろしいか。

代表者印	経理責任者印	請求者	堀江 幸二
			
令和元 年度			
科 目	<input type="checkbox"/> 研究研修費 <input type="checkbox"/> 資料作成費 <input type="checkbox"/> 広 報 費 <input type="checkbox"/> 人 件 費 <input type="checkbox"/> その他の経費	<input checked="" type="checkbox"/> 調 査 旅 費 <input type="checkbox"/> 資料購入費 <input type="checkbox"/> 広 聴 費 <input type="checkbox"/> 事 務 費	
金 額	1, 422, 740 円		
対象者氏名	三好和彦、今井廣一、井上浩二、臼坂 均、坪井 剛 西坂 壽、越智俊幸、伊藤新平、堀江幸二、藤田節雄 伊藤孝司		
支出内訳	1. 調査期間 令和1年10月22日(火)～10月25日(金) 4日間 2. 調査場所 ・ 北海道帯広市議会 ・ 北海道深川市議会 ・ 北海道苫小牧市議会 3. 調査人員 11名 4. 予算支出額 (1)調査旅費:1, 118, 040円(11人分)…① (宿泊料及び日当11名分、航空運賃11名分の合計) (2)バス借上料:304, 700円…② 合 計(①+②):1, 422, 740円 5. 政務活動費から支出する額 1, 422, 740円		
支出年月日	令和1年10月10日		
金銭出納簿 記載済印	井上浩二 		

※ 領収書は、裏面に貼付すること。

領 収 証

西条市議会自民クラブ 公明党西条市議団様

No. _____



★

¥ 702,232.00

領

バス借上料、航空運賃として

平成10年10月28日 上記正に領収いたしました



内 訳

税抜金額

消費税額等(%)

株 国際旅行 西条営業所

〒793-0085

西条市木46-1

TEL・FAX

085-1497

内訳

① バス借上料 360,100円 ÷ 13名 = 27,700円

自民クラブ 27,700 × 11名 = 304,700円

公明党西条市議団 27,700 × 2名 = 55,400円

合計 360,100円

② 航空運賃 662,220円 ÷ 13名 = 50,940円

自民クラブ 50,940 × 11名 = 560,340円

公明党西条市議団 50,940 × 2名 = 101,880円

合計 662,220円

局長	副課長	副課長	係長	係長	係
決裁年月	所管:	係	指示内容		
11/28	合議・供閲先				
出張			張	報	告 書

令和元年11月26日

西条市議会議長
行元 博 殿

出張者 自民クラブ 会長 堀江 幸二

政務活動費による出張の概要を、下記のとおり報告します。

記

出張先	北海道帯広市【帯広市議会】 北海道深川市【深川市議会】 中・北空知エネクリーン【中・北空知廃棄物処理広域連合】 北海道苫小牧市【苫小牧市議会】
出張期間	令和元年10月22日 ~ 令和元年10月25日（4日間）
出張用務	令和元年度自民クラブ・公明党 会派合同視察研修
	<p>北海道帯広市【帯広市議会】</p> <p>【学校給食センター方式について】</p> <p>(概要) 帯広市では、平成27年4月から市内の全小・中学校に1万4,000食を提供する共同調理場の共用を開始しており、事務員4名、栄養士7名、調理員99名、他18名の合計128名で運営している。</p> <p>衛生管理によるリスク対応については、学校給食衛生管理基準及び大量調理衛生管理マニュアルを遵守し、調理スペースの色分けにより調理員の活動範囲が決まっており、調理・発送準備等の職員の服装も各種決まっている。</p> <p>食物アレルギーの対応については、保護者からの依頼により、アレルゲン及び数量の情報を各家庭に連絡し、アレルギー調理室により、乳・卵の除去食を提供している。</p> <p>(所感) 米、野菜、肉、魚等の材料の搬入、洗浄からコース別にしており、当市においても調理システム等は参考すべき点があった。米の炊飯窯など、機械化できる点は、大いに導入し、効率化と衛生面の向上に向かうべきと考える。</p>
	<p>北海道深川市【深川市議会】</p> <p>【有害鳥獣対策について】</p> <p>(概要) 鳥獣被害額の現状として、平成30年は、エゾシカ682万5,000円、アライグマ27万5,000円、合計710万円である。捕獲状況については、エゾシカ146頭、アライグマ83頭である。</p> <p>エゾシカは体重が重く、捕獲しても埋設させるのが困難なため、骨以外は分解できるエスパス菌を使用する処理施設を導入し、令和元年4月から9月の間で323件を処理した。木材チップとエスパス菌を使用すれば、3日間でエゾシカを分解できるが、悪臭が発生する。</p> <p>有害鳥獣対策支援員の活動として、アライグマの調査・研究、ジビエ料理やエゾシカの皮の加工製品の開発を担当している。</p> <p>(所感) エスパス菌の使用上のメリットは大きく、捕獲頭数が増大すれば、検討すべきと考える。ジビエ料理、シカ皮の利用については、本市においても多くの可能性があり、加工等の研究を第一義としたい。</p>

中・北空知エネクリーン【中・北空知廃棄物処理広域連合】

【中・北空知エネクリーンについて】

(概要)延床面積4828.13平方メートル、4階建、ストーカ式焼却炉、1日当たりの処理能力が85トンであり、本市の半分程度の能力である。

広域連合全体の人口は約12万人と本市と同程度であるが、1日当たりの処理能力85トンで14市町のごみに対応できるのは、ごみの量が西条市の半分程度であり、ごみの分別を徹底しているためである。生ごみは各市で分別して、中・北空知エネクリーンには持ち込んでいない。ボイラーで発生した蒸気を利用して最大1,770キロワットの発電を行い、施設の機器に利用し、余剰電力は売却し、4,281万1,000円の収入を得ている。

(所感)生ごみは各14市町の拠点で事前に取り除き、分別化ができており、効率の良い焼却が可能となっているため、事前分別を当市も取り入れるべきである。

また、発生した熱は発電や、老人ホームの暖房等への有効利用を図るべきと認識した。

北海道苫小牧市市【苫小牧市議会】

【053のまち とまこまいについて】

(概要)苫小牧市は、ごみ処理に関する基本目標を設け、市民、事業者とその目標を共有し、その達成状況を評価しながら、それぞれの役割に基づいた取組を行っている。特に、平成25年7月の家庭ごみの有料化後、排出量は大きく減少し、平成22年度から平成26年度の5年間で1万3,500トン減少した。

現在の一般廃棄物の目標数値としては、平成32年度に5万5,300トン(現状から2,100トン減少)、36年度に5万3,400トン(現状から4,000トン減少)としている。

今後の減量化に向けた取組については、戸別収集に取り組むことで、不適切なごみの排出減少の効果があつたため、コストは増加するが、今後も継続して取り組む予定である。生ごみの処理については、分別を強化し、堆肥として利用したいが、農家が少ないため、利用者が伸びない課題がある。

(所感)不用のごみ出しを減少させるシステムは参考となるものであつた。戸別収集で減るごみの処理金額と収集にかかる経費を試算し比較検討したい。

また、西条市は農業も盛んであり、堆肥となる材料については、有用性が高いため検討・研究したい。

概要報告

支 出 伺

令和2年 1月 21日

本書金額を、政務活動費より支出してよろしいか。

代 表 者 印	経 理 責 任 者 印	請 求 者	堀 江 幸 二
令 和 元 年 度			
科 目	<input type="checkbox"/> 研究研修費 <input type="checkbox"/> 資料作成費 <input type="checkbox"/> 広報費 <input type="checkbox"/> 人件費 <input type="checkbox"/> その他の経費	<input checked="" type="checkbox"/> 調査旅費 <input type="checkbox"/> 資料購入費 <input type="checkbox"/> 広聴費 <input type="checkbox"/> 事務費	
金 額	557, 260 円		
対象者氏名	三好和彦、今井廣一、井上浩二、臼坂 均、坪井 剛 西坂 壽、伊藤新平、堀江幸二、藤田節雄、伊藤孝司		
支出内訳	1. 調査期間 令和2年1月28日(火)～1月30日(木) 3日間 2. 調査場所 <ul style="list-style-type: none"> ・ 福岡県久留米市議会 ・ 熊本県宇土市議会 3. 調査人員 10名 4. 予算支出額 (1)調査旅費:361, 300円(10人分)…① (宿泊料及び日当10名分、船賃往路10名分の合計) (2)バス借上料:304, 560円…② 合 計(①+②):665, 860円 5. 政務活動費から支出する額 557, 260円		
支出年月日	令和2年1月21日		
金銭出納簿 記載済印	井上浩二		

※ 領収書は、裏面に貼付すること。

領 収 証

西条市議会 白民クラブ 様

No. _____

★ 7 3 2 5 8 6 0 . -

内 訳 _____
 現 金 _____
 小切手 _____
 手 形 _____

但

1/28~1/30 バス借上料、乗船料と
し

昭和74年 2月 2 日 上記正に領収いたしました



消費税額等(%) _____

コクヨ ワケ-98

株国際旅行 西条営業所

T793-0085 西条市 檜木46-1

TEL・FAX 0897 55-1497

内訳

①	乗船料	21,300円 (2,130円×10人)
②	バス借上料	304,560円
	合計	325,860円

課長	副課長	副課長	係長	係長	係長
2/19					
出張報告書					
令和2年2月13日					

西条市議会議長
行元 博 殿

出張者 自民クラブ 会長 堀江 幸二

政務活動費による出張の概要を、下記のとおり報告します。

記

出張先	福岡県久留米市【宮ノ陣クリーンセンター】 熊本県宇土市【宇土市議会】
出張期間	令和2年1月28日 ~ 令和2年1月30日 (3日間)
出張用務	令和元年度自民クラブ政務活動視察研修
概要報告	<p>視察人員10名にて、上記の視察を実施した。</p> <p>福岡県久留米市【宮ノ陣クリーンセンター】 【宮ノ陣クリーンセンターについて】 (概要)</p> <p>1 設備概要について</p> <p>運営期間 2016年6月から2036年6月(DBO方式契約期間)</p> <p>処理方式 ストーカ方式</p> <p>処理能力 163トン(日)</p> <p>受入供給設備 ピット・アンド・クレーン方式</p> <p>焼却設備 連続燃焼方式</p> <p>余熱利用設備 蒸気タービン発電</p> <p>処理方法 破碎選別処理方式(不燃ごみや粗大ごみ)</p> <p>2 整備に至るまでの経緯、スケジュールについて</p> <p>昭和63年 「南北2ヶ所体制による長期安定処理」方針決定</p> <p>平成5年 上津クリーンセンター稼働(2ヶ所体制の南部に相当)</p> <p>平成19年 久留米市新中間処理施設整備基本構想を発表</p> <p>平成21年 宮ノ陣八丁島地区を建設予定地として公表</p> <p>平成23年10月 都市計画決定</p> <p>平成23年11月 地元自治会と合意書締結</p> <p>平成24年 3月 建設用地取得</p> <p>平成24年12月 タクマグループが落札</p> <p>平成25年 3月 タクマグループと本契約を締結</p> <p>平成25年 3月 建設開始</p> <p>平成28年 6月 宮ノ陣クリーンセンター竣工</p> <p>3 地元協議・説明について</p> <p>地元住民や自治会、農業従事者に向けて信頼関係構築のため説明会や協議会を複数回開催した。</p>

<p>概要報告</p>	<p>4 運営方式(DBO方式)について PFI等導入可能性調査の結果を受け決定。経済性や安定稼働の確保などの評価項目を最も満足したDBO方式を採用した。</p> <p>5 焼却炉の選定について 焼却・溶融施設の処理方式等検定委員会により決定。</p> <p>6 発電について 発電によって生じた売電収入はくるめハイトラスト株式会社(特別目的会社:SPC)と市で折半する。 売電先 株式会社エネット 売電単価 20.07円/キロワットアワー 発電量 17,747,647キロワットアワー 売電量 11,517,298キロワットアワー 総売買料金 179,038,706円</p> <p>7 財源について 工場棟 94億3,000万円、リサイクル棟20億4,000万円、環境交流プラザ10億7,000万円、敷地造成等15億9,000万円、道路拡幅、付け替え7,000万円、諸経費2億6,000万円、合計で144億6,000万円かかり、交付金38億9,000万円と地方債89億4,000万円を利用した。</p> <p>8 今後の課題 (1)課題 20年間の安全運転継続、運営期間終了時の対応。 (2)取組 安定的な処理継続を目的とし、定期的なモニタリング、財務モニタリングを行う。モニタリングを通し、運転状況・財務状況を把握し、的確な監督指導を行う。</p> <p>(所感) 当市に取り入れるべき事業について 1. DBO方式の採用により、建設費、維持管理費、15年間で、公設公営と比較した場合、18億8,000万円の削減効果があり、当市も研究に取り組む必要がある。 2. 当市のゴミ選別は8種類であるが、久留米市は18種に分別し、資源化率の向上を目指しており、当市も缶類、ペットボトルの資源化率の向上を図るべきである。 3. 焼却時に発生した熱量を久留米市は発電に利用しているが、当市も発電あるいは老人ホーム等の暖房に再利用する方策を検討すべきである。</p> <p>熊本県宇土市【宇土市議会】 【復興のまちづくりと防災の取組について】 (概要) 1 初動対応時の課題について 前震発生時は本庁を使用できたが、予想していなかった本震発生で市役所の機能を喪失。もっと早期に耐震化なり、新庁舎建設に取り組むべきであった。</p>
-------------	---

概要報告

2 震災後の防災体制について

駐車場にテントを張って事務対応。約1万人の避難者は避難所の建物に入るのを嫌がり、車の中、公園、グラウンドでの車中泊が多かった。
地震に対する不安から市民は、車中泊したのであり、防災上もそれが安全であると判断し、市民の意思に任せた。

3 復興に向けた取組について

(1) 下水道断水の応急復旧

本震直後は9割のエリアで断水、自衛隊と市、水道事業者による給水活動、8日目に全域回復。

(2) 仮設トイレの設置

下水道は無事であったが、水がないため、プール等よりバケツ給水にて対応
国土交通省から仮設トイレ30台の分散設置。

(3) 自衛隊の炊き出し開始、食材等の確保にJAの協力あり、当初はご飯のみ。

4 課題及び今後の取組について

市職員を避難所に設置すると、災害対応や支援事業が滞る。避難者が多すぎると、支援が必要なかたへの柔軟な対応ができない。

状況に応じての人員配置と一元管理が必要との認識を持った。

5 議会における災害時の対応について

議員個々の執行部への要望はしないで、事務局の取りまとめで一元管理をした。
議員は地元に戻り、復旧の手助け、支援物資の振り分け等に従事した。

(所感) 本研修で得たものは、災害が起こってから後悔しても手遅れであり、大地震は起こらないという安易な先入観を持たずに、常に危機感を持つことである。

災害時には行政が助けしてくれると考えるのではなく、共助自助の概念を持ち、水や食料の備蓄を図るべきである。市の対策として、罹災証明書等の発行について、市の職員も課が違くと知識不足が散見されるので、事前のレクチャーを実施すべきと考える。